

自分に何ができるのか

1年4組 20番 鈴木侑彩

この課題に関わる SDGsの番号



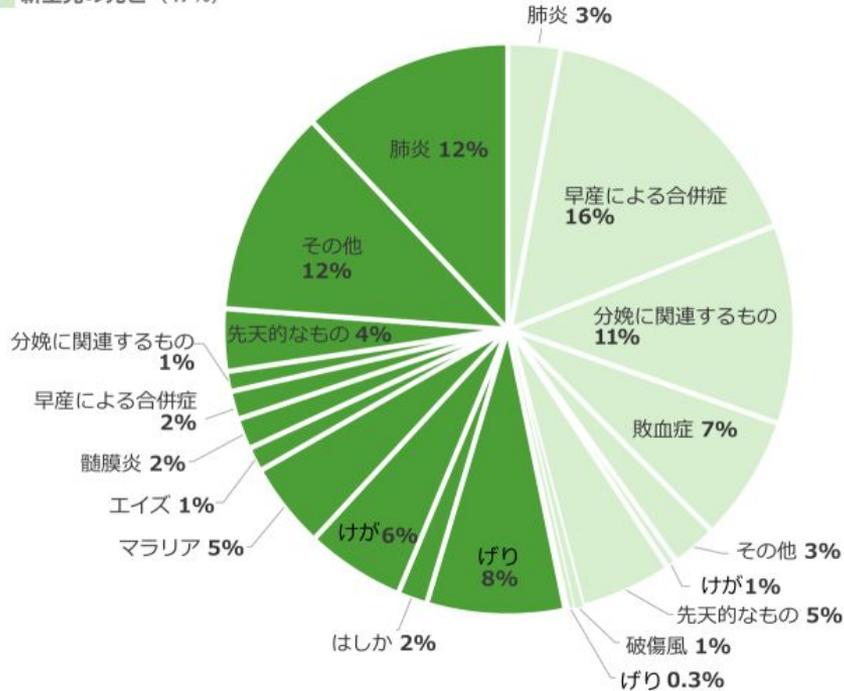
テーマ設定の理由

私は父が救急救命士、母が介護施設の生活相談員なのでよく二人から健康の大切さ、尊さを教えてもらいます。それに加えて授業でSDGsについて学び、世界には健康的に生活できず幼いうちになくなってしまいう人がたくさんいるんだということを知りました。そこで多くの人に今の世界の現状を知ってもらい、私のように健康の大切さを改めて痛感してもらおうべくこのテーマを選びました。

現状

生後1ヵ月から5歳未満の子どもの死亡 (53%)

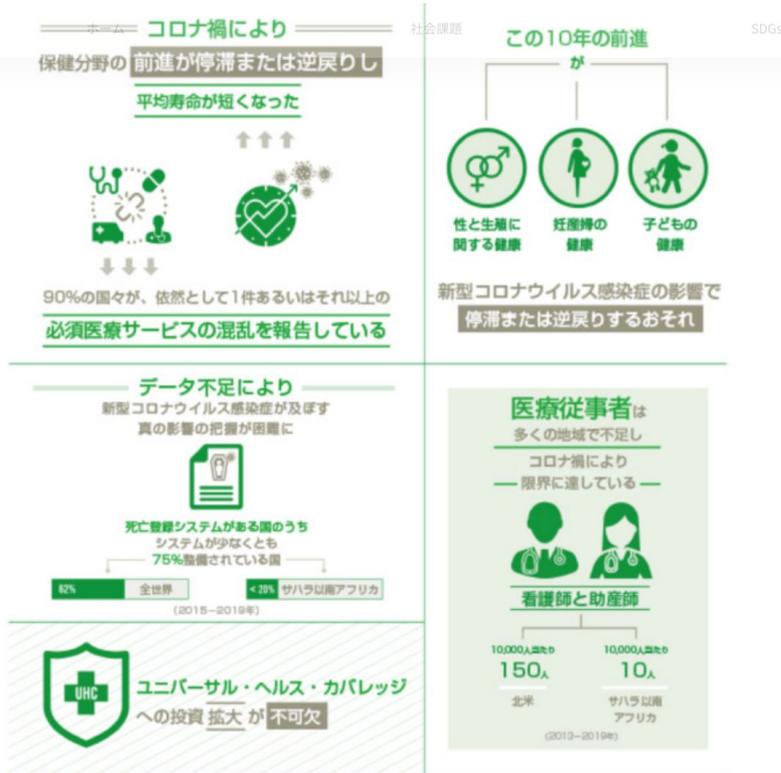
新生児の死亡 (47%)



多くの子どもたちが、かぜをこじらせた肺炎やげりによる脱水症状など、予防したり、治療したりできる原因で、命を失っています。

また、5歳未満で亡くなる子どもの半数近くが、生まれて28日のうちに亡くなっています。

課題



これまでの何年間もの活動によって幼い子供の寿命が伸びたり、妊婦の死亡率が減ったりといくつかの問題が解決しつつあったのですが、新型コロナウイルスの感染が拡大したことにより逆戻りしてしまうかもしれないということです。

医療が逼迫している今、問題が解決するどころか逆戻りして、更にはもっと悪化してしまうなんてことなんてことにもなりえません。

解決策

- ・水、衛生環境を整える
- ・医師不足、医療従事者不足の改善
 - ➡国境なき医師団など一つの国だけでなくみんなで支え合って変えていく
- ・寄付や募金
- ・ボランティア活動
- ・情報の発信

10代の提言

できない人がなんていない！

自分にできることはなにか考えてそれを行動に移そう！

感想

私は今回のスライドづくりを通して世界にはまだまだ苦しんでいる人や、無念のまま亡くなっていく人がたくさんいるんだなと改めて感じました。調べてみると、日本は平均寿命が世界第1位。そんな恵まれた環境に生まれた私達ですが、この生活が当たり前ではないということをしっかり自覚しながら日々の生活を送っていきたいものです。先程日本は平均寿命が世界1位と述べましたがそれに代わり、日本は自殺率が高いそうです。まだまだ生きていける体なのに自ら命を奪ってしまうのは、生きたくても生きることができない人に失礼だと思います。だから、そのような課題も含めもっと多くの人に知らせてできるだけ早く解決できるようにしていきたいと思いました。